

ミリ波材料の基礎・設計・評価方法および ミリ波回路・ミリ波システムへの応用

1名分料金で
2人目無料セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260422>

- ◆日時: 2026年04月22日(水) 10:30～16:30
◆オンライン会議アプリZOOMを使ったWEBセミナーです。
◆受講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で55,000円(税込)から
・1名で申込の場合、**49,500円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計55,000円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 国立大学法人 宇都宮大学
工学部 基盤工学科 情報電子オプティクスコース(電気電子分野)
大学院 地域創生科学研究科 工農総合科学専攻 准教授 博士(学術) 清水 隆志 氏

【講演の趣旨】

2030年商用サービス開始を目指して研究開発が進む高性能移動通信システムBeyond 5G / 6Gやレベル5の次世代完全自動運転車などの実現に向けて、ミリ波と呼ばれる30GHz帯以上の周波数が脚光を浴びています。一方で、ミリ波帯は、マイクロ波帯よりも数倍から数十倍以上も周波数が高くなるため、回路材料となる導体や誘電体に起因した損失が増加し、回路実現を困難にします。このため、使用する周波数帯域において精度良く材料評価し、ミリ波システム設計者が望むミリ波材料をいち早く提供できることが求められております。

本セミナーでは、次世代移動通信や次世代自動車への展開に必須となるミリ波やミリ波材料に関する基礎知識からミリ波材料評価方法、さらにはミリ波回路やミリ波システムへの応用例などに関して解説します。

【プログラム】

- ミリ波とは
 - なぜミリ波が注目？
 - 定義・特徴
- ミリ波システム
 - これまでのミリ波システム
 - これからのミリ波システム
- 回路評価技術の基礎
 - 伝搬定数
 - Sパラメータ
 - 測定方法
- ミリ波回路
 - ミリ波伝送線路
 - 設計方法
 - 設計事例
 - ミリ波受動回路
 - フィルタの実現例
 - アンテナの実現例
 - ミリ波集積回路
 - 望まれるミリ波材料
- 材料評価技術
 - 材料評価技術の分類・特徴
 - 高損失材料の評価技術
 - 低損失材料の評価技術
 - 平板材料の評価方法
 - フィルム材料の評価方法
 - 異方性材料の評価方法
 - 導体材料の評価技術
 - 表面側の評価技術
 - 界面側評価技術
- まとめ

『ミリ波【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>